

令和5年度 中濃特別支援学校

全校研究会開催

9月29日に全校研究会を開催しました。今年度は、『個々の力を存分に発揮する自立活動の授業づくり～「自立活動実態把握シート」から児童生徒のつまずきや困難さの背景を探る～』という主題研究テーマを掲げ、全校で取り組んでいます。

今年度より新たに「自立活動」を研究の柱とし、3カ年計画でスタートしました。3カ年計画の1年目である今年度は、「基礎研究」の年と位置付け、6月には茨城大学教育学部の新井英靖教授から「自立活動の授業づくり～基礎編～」のテーマで講演をいただきました。それを受け、各研究グループに分かれて、学習上又は生活上における児童生徒の困難さとは何かということに焦点を当て、「自立活動実態把握シート」を作成し、授業づくりに反映させています。

研究会当日は、午前中に自立活動の公開授業を行いました。午後からは、公開授業のVTR視聴、各部研究会、全体会という流れで実施しました。各自希望した部において、「授業づくり・改善シート」を基に、授業を評価し、次回につながる改善点等を討議し、全校で交流しました。

自立活動の授業では、児童生徒が主体的に取り組むことができるように、個々の児童生徒の困難さを配慮または軽減できる手立てを講じた授業づくりを大切にしています。学校教育目標にも掲げられている、「エビデンスに基づいた特別支援教育の専門性の向上」を目指し、今後も研修や研究に邁進していきたいと思えます。

全校研究会の様子



< 小学部の様子 >



< 高等部の様子 >



< 中学部の様子 >

公開授業のVTR視聴後、各部でグループに分かれ、討議を行いました。どの部も活発に意見交換がなされ、今後の授業がより良くなるための授業改善について話し合いました。